



令和4年度 幼稚園評価の結果

1 主な指標の変化

- ① 昨年度より幼稚園評価を1学期末と2学期末の2回実施をしている。さらに、保育参観、運動発表会、生活発表会等、各種行事等が行われる度に簡単アンケートを実施してきた。その都度アンケートに対して100%に近い保護者から回答を得ることができたことに御礼を申し上げたい。保護者の皆様の幼稚園に対する関心の高さと厚いご協力にまずは感謝したい。
- ② 「子供は幼稚園が好きか」という問いに対し、「良くあてはまる」の回答が、92.9%である。昨年度(83.3%)に比べると約10%アップの結果だった。全職員が園児に関わり、個々の状況を把握したり、楽しめる活動の工夫をしたりした結果の表れだと感じる。
- ③ 「安全に関する適切な指導が行われている」の項目では、良くあてはまるが、1学期末78.6%、2学期末92.9%で14.3%アップした。毎月の避難訓練では、様々な場面を想定して実施し、職員で事前打ち合わせや反省会を設け、より安全に過ごせる方法を考え実践してきた。
- ④ 「自分の思いを先生に話せる」の項目が、良くあてはまるは1学期末42.9%、2学期末35.7%に下がってしまった。園児数にすると1名の変化だが反省点である。子供同士の話し合いの場を多く設け、自分の思いを言葉で表現できる機会増やしたが、残念な結果となった。引き続き、発達段階を考慮しつつ何でも話せる環境作りを家庭と連携を密に取りながら取り組んでいきたい。

2 幼稚園教育目標の具現化に向けた指標

① 『健康で明るい子』

年間通して、体操マラソンを週2日以上行い、年度末までに全園児がトラック6周走ることを目指し取り組んだ。これはチーム目標にもなっている。体操は、様々な曲を使用することで楽しくできるようにし、マラソンでは園児の体力を考慮しながら無理の無いよう少しずつ距離を伸ばしていき、今では全員6周走ることができ、目標達成できた。

② 『きまりを守る子』

様々な集団生活を行う上で、「安全指導」については重視してきた。その結果、大きな怪我や事故なく、安全に過ごすことができた。

③ 『仲良く遊べる子』

「好きな友達がいる」は良くあてはまるが100%で、気の合う友達と仲よく遊ぶ姿がよく見られる。また、ルールのある集団遊びをグループやチームで協力して行うことにより、気の合う友達以外とも関わりをもって活動し遊べている。

3 まとめ

1クラスだけでの活動のため、全職員が園児一人一人に細やかに目を向け個々に合った対応や教育の実施が出来たのではないかと感じる。また、コロナ禍ではあるが、皆様のご協力のもと様々な行事ができたことに感謝する。

